

神小ふれあい“がっこ茶”広場

～7月オープンに向けて準備中～

老若男女を問わず、神岡地域に暮らす誰もが気軽に來ることができ、がっこをつまんで、お茶っこのんで、話っこしたりして、のんびり楽しい時間を過ごしてもらおう。

そして、時には子供たちの授業を参観したり、一緒に遊んだりして、学校や地域で子供たちをさりげなく見守っていく。



ひとあかり

No.22

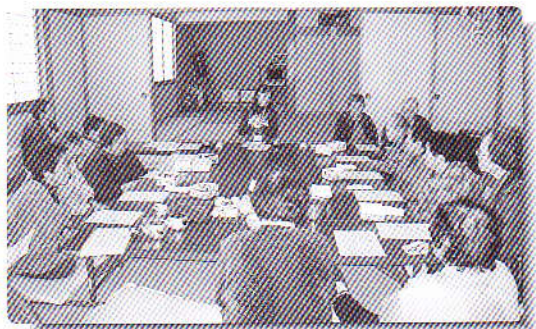
大仙市社会福祉協議会
神岡支所だより
平成22年6月発行
大仙市神宮寺字蓮沼17
TEL: 0187 (72) 2948
FAX: 0187 (87) 1081

印刷 株式会社フロム・エー

神岡支所笑顔あふれるまちづくりを進める会（高橋紀子委員長）では、神宮寺小学校の「神小ふれあいんジャー事業」と協同で、このようなふれあいサロンづくりを進めており、この活動を明るく元氣あるまちづくりの一助にしたいと考えています。

開催日時は、毎週水曜日の午前10時から午後3時30分。場所は、神宮寺小学校内の「地域ふれあいルーム」を予定しています。

詳しいことが決まりま



したら、チラシで皆さまにお知らせいたしますが、このふれあい「がっこ茶」広場がみんなに親しまれ長く続くよう、運営にご協力くださるボランティアを募集しています。

難しいことはなにもありませんので、たくさんの方々のご協力をお願いいたします。神岡支所（電話72-2948）へのご連絡をお待ちしております。

ひとあかり

（神岡支所の人事異動）

今年度から、神岡支所を拠点として南外地域と神岡地域の訪問介護サービスを一体的に行っております。これに伴い、南外支所から古屋幸子、佐々木幸美、伊藤昌子が神岡支所に異動になってきております。

なお、今年度の神岡支所スタッフは次のとおりです。

【事務職員】草薨太郎、高橋しげ子、清水くに子

【訪問介護員】古屋幸子、上田富喜子、佐々木幸美、黒川珠子、佐藤律子、佐藤洋子、渡部愛子、伊藤昌子、伊藤治美

安心して笑顔で暮らしていけるまちづくりを進めるため、スタッフ一同がんばりますので、よろしくお願いいたします。

行事予定（六月～八月）

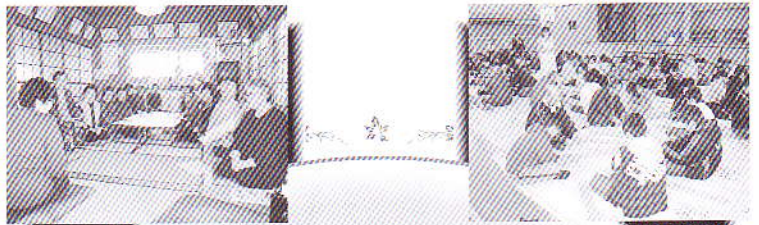
- 六月
 - 7日 ボランティア連絡協議会総会
 - 10日 民生児童委員協議会定例会
 - 11日 神岡支所運営委員会
 - 11日 介護者教室
- 七月
 - 上旬 民生児童委員協議会定例会
 - 中旬 福祉員会議
 - 下旬 介護者交流会
- 八月
 - 上旬 民生児童委員協議会定例会

福祉を支える、あなたの会費!

～会費のご協力、よろしくお願いします～

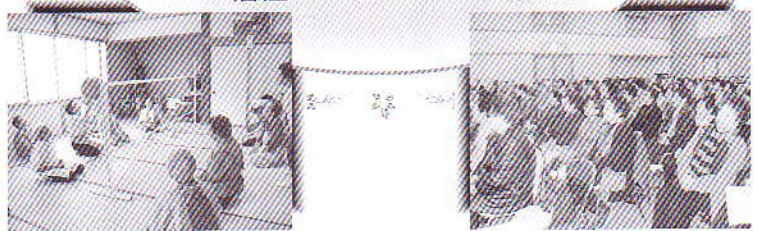
7月に福祉員会議を開催し、各地域の福祉員さんが伺いますので、よろしくお願いします。

一般会費	1,000円
法人・団体会費	5,000円



このような事業に 役立てています!

- ・ふれあいサロン
- ・ニコニコふれあい広場
- ・ネットワーク事業
- ・福祉のつどい
- ・広報発行



善意
(三月～五月)

・香典返しとして
鈴木 雄悦さん(大浦)より

・寄付として

菊地 昭さん(下町)より

第一黎明会
代表 泉 和夫さんより

※社会福祉協議会に寄せられた善意は、所得税申告の際、寄付金控除の対象になります。

皆様方から寄せられました善意に、心から厚くお礼申し上げます。



人あかりのみちくさ・21

♪ぼくらはみんな生きている
生きていくから 楽しんで

「こんにちは」と気持ちよい挨拶を交わして、子どもたちとすれ違いました。しばらく行ってその子たちが歌っています。明るい歌声、いい歌詞です。希望が胸の底から湧いてきます。歌を聴きながら彼はあの頃を思い出していました。

「辛い辛い、かいてくれ」彼の母親は九十三歳、寝たきりになっていて過去が現在と混じりあっています。介護は彼六十三歳、人の言う老老介護です。ただ六十三歳は老人ではありません。気力も体調も残っています。妻は彼岸へ旅行中。娘は会社。介護担当は彼がするのが当たり前。勤めの仕事は在宅勤務。

母は辛がりです。辛いなるのは、いつも午前二時。口中は空中に両手を出して、縫い物の様子。「何してるう」。「今、襟縫っているのだ」。母は、裁縫のお弟子さん達に来ていた頃の時空にいました。笑顔で何かを吹きながら。これが毎日の日課です。

かゆい

お医者さんから戴いた痒み止めの塗り薬は効きません。痒いのは背中です。不思議な事に手でさすると治まるのです。彼はさすりながら、昼に作った替え歌を歌っていました。

♪ぼくらはみんな生きている
生きていくから 愛するんだ

ぼくらはみんな生きている
生きていくから 痒いんだ

手の平で痒いとこ さすってごらん
背中の温みが 手につたわるよ

父さんだって 母さんだって
赤ちゃんだって

みんなみんな
みんなみんな

生きていくから 痒がりなんだ
午前三時、母は睡りました。彼も睡ります。

あれから十数年経ちました。苦も楽も過ぎてゆくもの。彼は、あの、人生で一番濃密な母との時間を反芻していました。そして、口の中であの歌を歌いながら歩いていました。

高齢者実態把握調査のお願い

今年度も65歳以上の方を対象に「高齢者実態把握調査」を行っております。社協職員がお伺いの際は、ご協力くださいますようお願いいたします。

編集後記

★行ったり来たりだった春も、有耶無耶の中に桜が過ぎ、やがてカッコーの声を聞き、そしてヒバリが囀りが聞こえる季節になりました。季節の移りかわりは確実です。★笑顔あふれるまちづくり「ガツコ茶」広場を第一面でお知らせします。★秋田県社協が提唱する「いきいきサロン」を仲間協の事業に取り上げ、秋田県社協の小川さんが現地指導に訪れ、宇船地区に「ふれあいホーム」として発足したのが平成十一年四月七日でした。★毎週水曜日に、児童館に集まって来ます。①家族や他人の悪口を言わない。②手料理はもって行かない。③酒盛りはしない。④風邪を引いたら参加しない。他数項目の憲法を作り守った。★その後北極岡、蒲、福島、宮田、上高野と全町に広がっていききました。★いつまでも元気な高齢者でいたい。介護予防の側面を持つガツコ茶広場をみんな盛りに上げていきたいものです。★ちなみに宇船地区のふれあいホームは、今も継続されています。